

携帯型EMGシステム仕様書

- 1、3次元動作解析装置や床反力計，トレッドミル等動作解析装置との併用により歩行運動中の8チャンネル分の筋活動の同時計測が可能なこと
- 2、電極に歩行中の振動の影響を除去するためのプリアンプが内蔵されており、精度の高い筋活動計測が可能であること
- 3、各チャンネルはオプションでゴニオメーター、フットスイッチ、フォース・ゲージ、心拍計、加速度計の各機能を設定できること
- 4、信号増幅率は、生体の抵抗にあわせ、高い増幅率(1,000倍以上)があること。
- 5、筋活動電位(EMG)以外の周波数を除去できるプリアンプを内蔵していること。
- 6、高い耐ノイズ性(1.2RMS以下)があること。